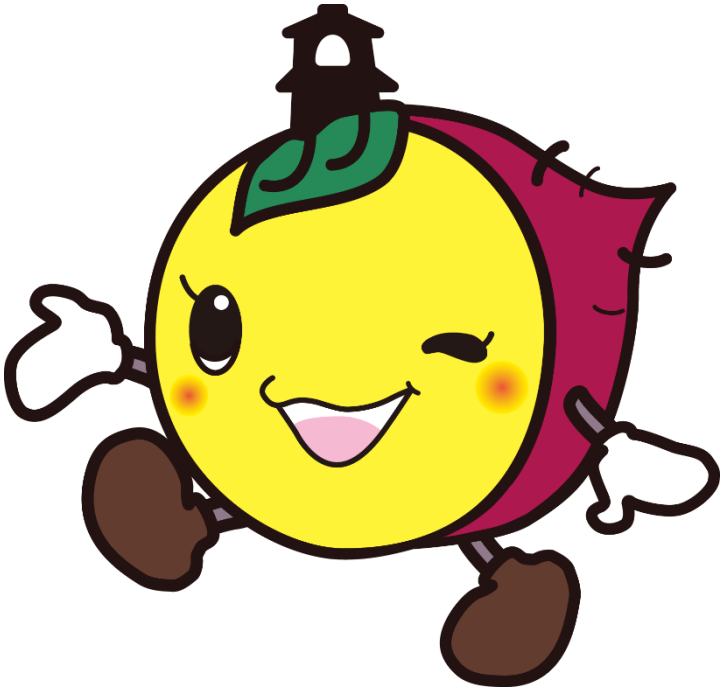
川 越 市 （ ４ 月 ） 定 例 記 者 会 見



日 時　令和７年４月１７日（木）

１４時００分～

場 所　川越市役所４階 迎賓室

川越市（４月）定例記者会見次第

令和７年４月１７日（木）

１４時００分開会　迎賓室

１　開　会

２　説　明

〇 一番街における歩行者天国の試行的実施について（交通政策課）

３　質疑応答

４　その他

５　閉　会

⑴　一番街における歩行者天国の試行的実施について

1　実施の趣旨

交通規制の実態上の影響等を検証するため、一番街において歩行者天国を試行的に実施するものです。なお、当該検証結果をもとに、地域の生活環境を確保しつつ、歩行者が安心・安全に過ごすことができる交通環境の形成を目指し、今後の一番街周辺の交通のあり方について検討を進めてまいります。

2　実施の内容

（実施範囲）

一番街（札の辻交差点～仲町交差点）

（実施内容）

歩行者用道路（歩行者天国）

（実施期間）

春季：令和７年５月３日（土･祝）～５日（月･祝）

秋季：令和７年11月１日（土）～３日（月･祝）

いずれも午前11時から午後５時まで

3　実施の経緯【令和６年度大型連休時の一番街の状況】

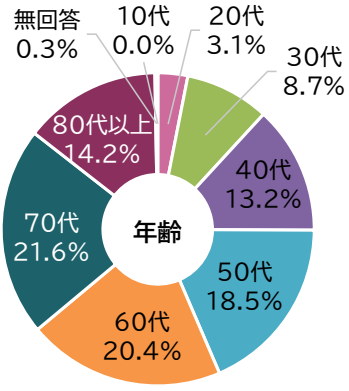
蔵造りの町並みが広がる一番街周辺は、観光拠点として多くの方が訪れる一方、複数のバス路線が通る幹線道路かつ生活道路でもあり、**人と車が錯綜する状態**となっています。

3　実施の経緯【アンケート調査】

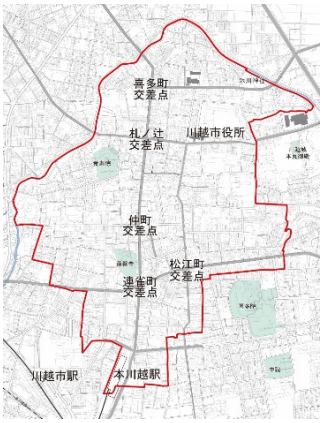
一番街周辺の交通環境への所感や交通対策に対する意見等を伺うことを目的にアンケートを実施

住民向けアンケート

- 対象：北部市街地の21自治会全世帯
- 配布期間：R6年9月30日～10月25日
- 回収率：約42.6%
  （配布：7,327件　回収：3125件）



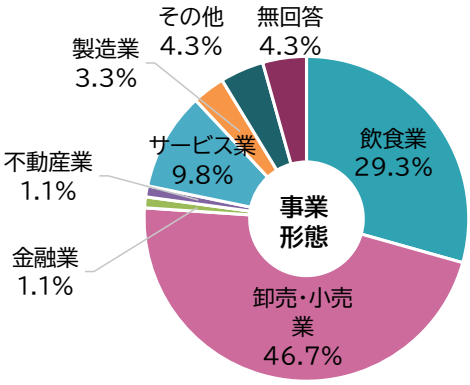
■年齢別回収状況



■配布対象範囲

店舗・事務所及び駐車場関係者向けアンケート

- 対象：一番街沿道の店舗・事務所及び駐車場関係者
- 配布期間：R6年11月5日～11月20日
- 回収率：約60.1%
  （配布：128件　回収：77件）



※複数回答可

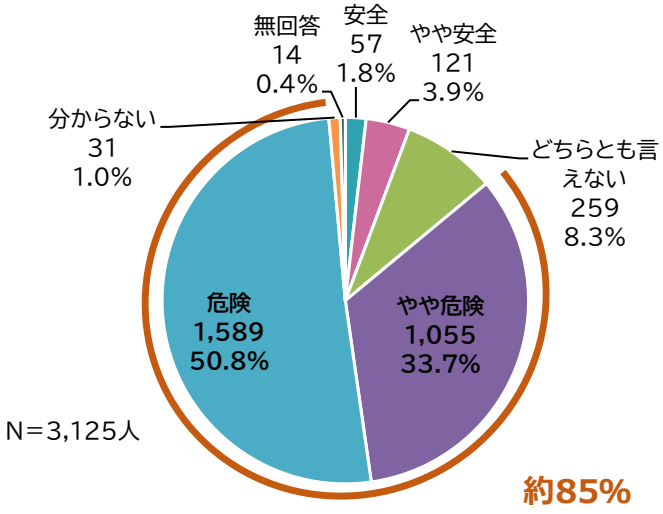
■業種別回収状況

3　実施の経緯【アンケート調査】

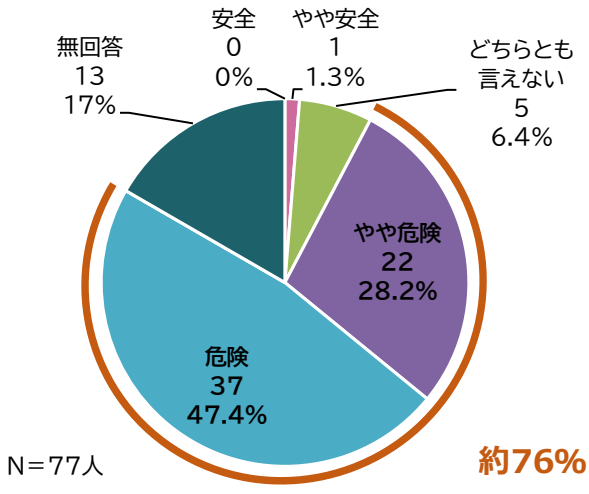
現在の一番街の安全性について

一番街の交通環境について、約８割の人が危険性を感じている状況

住民向けアンケート



店舗・事務所及び駐車場関係者向けアンケート

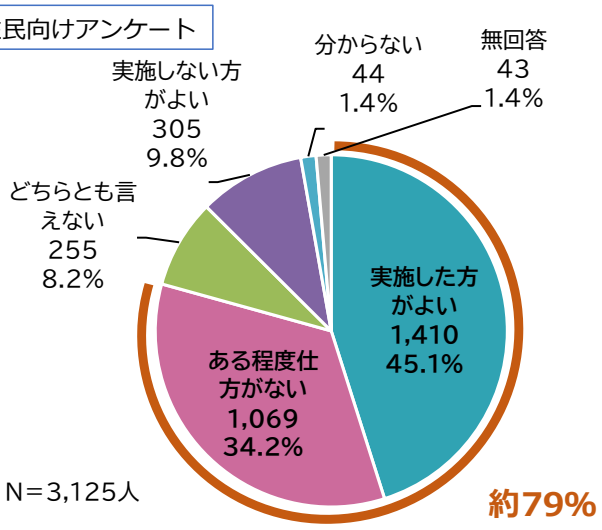


3　実施の経緯【アンケート調査】

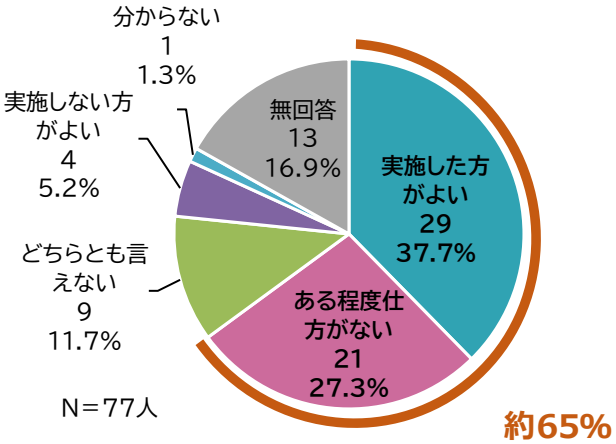
交通規制の実施について

交通規制の実施について、住民の約８割、店舗等の約65%が交通規制に比較的肯定的な傾向

住民向けアンケート



店舗・事務所及び駐車場関係者向けアンケート

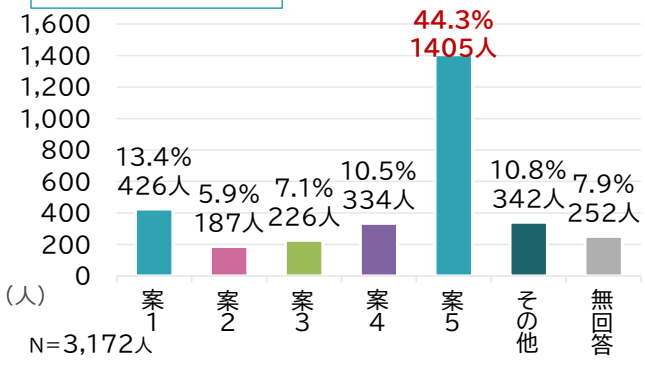


3　実施の経緯【アンケート調査】

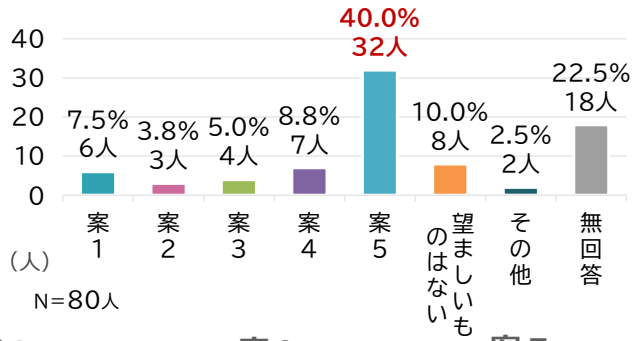
望ましい交通対策案について

望ましい交通対策案として、歩行者天国案（案５）を最も多くの人が選択

住民向けアンケート



店舗・事務所及び駐車場関係者向けアンケート



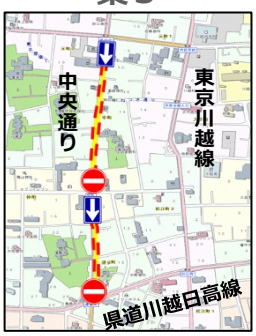
案１

中央通り・東京川越線
相互一方通行

案２

一番街・東京川越線
相互一方通行

案３



中央通り一方通行

案4

一番街一方通行

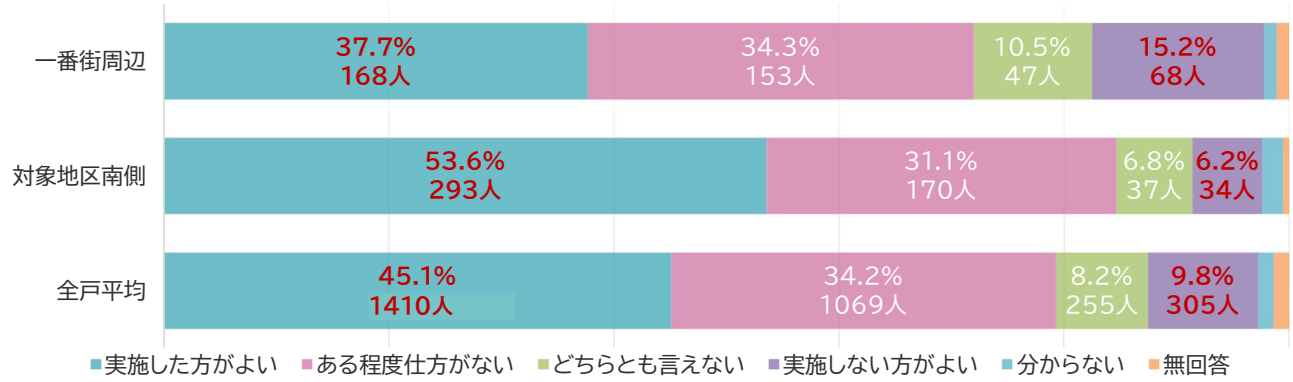
案５

一番街歩行者天国

3　実施の経緯【アンケート調査】

地域別（一番街周辺地域と対象地区南側地域の比較）の結果

一番街周辺の地区では、「実施しない方がよい」の回答率が高くなり、15%超。最も多い自治会では27.8%と、地域により異なっています。（平均では１割以下）

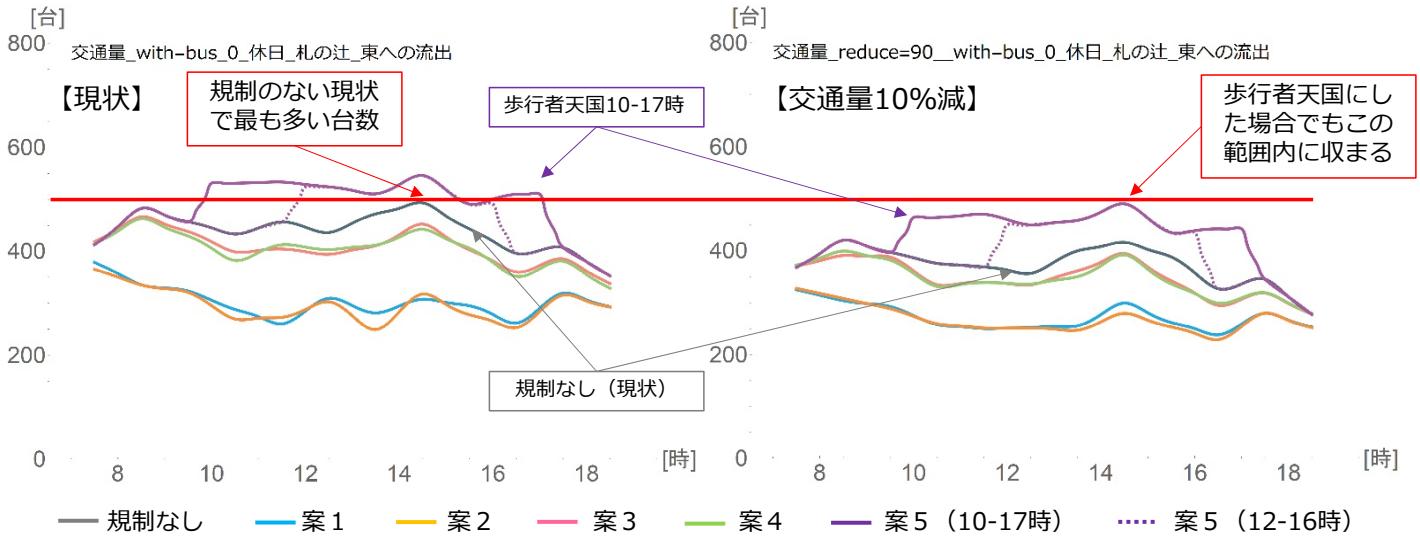


【アンケート調査の結果から】

▷単純に数字だけでは見えない部分があることに留意が必要であり、**地域に与える影響が大きい交通規制の実施については、より丁寧かつ慎重な検討が必要**。

3　実施の経緯【交通シミュレーション調査】

東京大学生産技術研究所の本間裕大准教授による交通シミュレーションによれば、**いずれの交通規制案も周辺交通への影響が生じた**一方、**歩行者天国案（案５）を実施した場合でも、交通量を10%削減できれば、概ね交通規制を実施しない場合と同水準を維持できる**結果となりました。



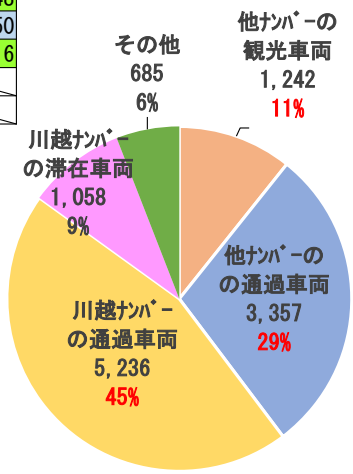
※交通シミュレーションの詳細は、市ホームページで公開されている報告資料をご参照ください。

3　実施の経緯【ナンバープレート調査】

一番街周辺に流入した車両で流入元・流出先が特定された車両のうち、**約１割が観光車両、７割以上が通過車両**となっています。

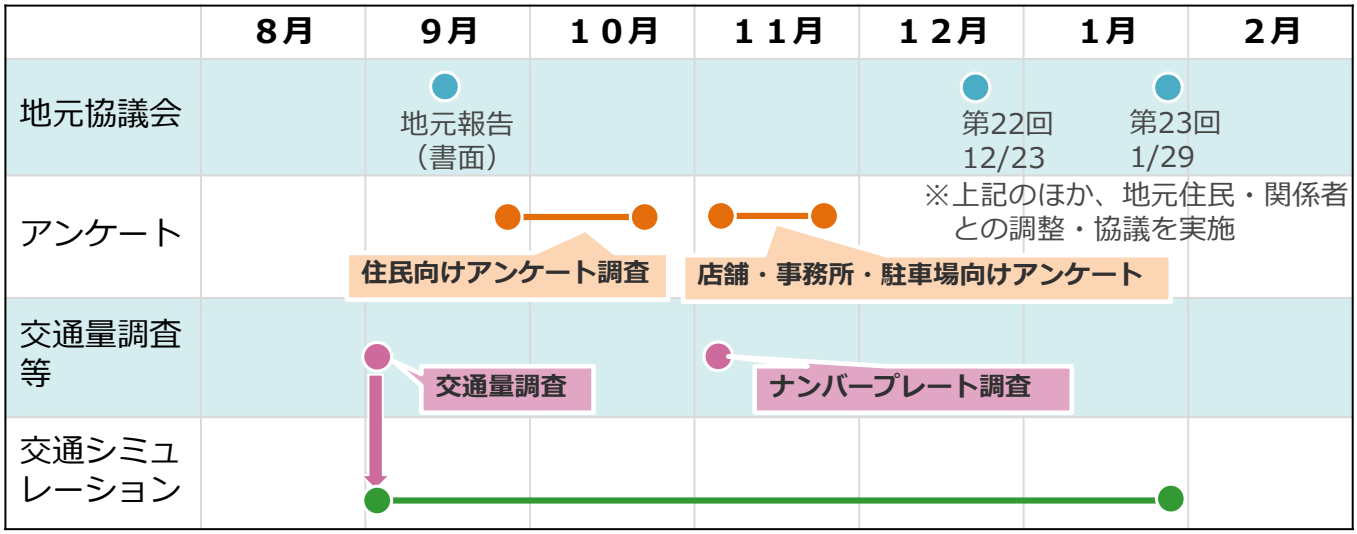
総数	台数	市内・市外	台数	流入出先の特定	台数	車種別	台数	用途別	台数
総車両	16,612	市内車両	10,019	流入出先特定	6,838	乗用車	6,556	滞在	1,041
								通過	4,977
								外出	538
						業務車両	282	滞在	17
								通過	259
								外出	6
				流入出先不明	3,181	乗用車	3,026		
						業務車両	155		
		市外車両	6,593	流入出先特定	4,723	乗用車	4,619	観光	1,242
								通過	3,307
								外出	70
						業務車両	104	業務	48
								通過	50
								外出	6
				流入出先不明	1,870	乗用車	1,770		
						業務車両	100		

市内・市外：川越ナンバーかそれ以外
流入出先の特定：流入先・流出先の突合が可能なものと、流入先又は流出先データがないもの
車種別：乗用車（自家用車またはレンタカー（ナンバープレートの種別が「3・5・7」））と業務車両（それ以外）
用途別：「滞在」・「観光」・「業務」は「流出時間-流入時間」が30分以上、「通過」は0分以上30分未満、「外出」はマイナス



3　実施の経緯【まとめ】

調査結果をもとに、地域の皆様からの御意見を踏まえ検討を行ってまいりましたが、地域に与える影響が大きい交通規制の実施については、より丁寧かつ慎重な検討が必要であるため、歩行者天国を試行的に実施し、今後の検討の基礎材料とすることとしました。

また、実施に当たっては、十分な事前周知や迂回案内等を行い、通過交通も含めた北部市街地への車両の流入抑制に努めてまいります。

【令和6年度の調査・検討内容】